



## 『卓話：日本語教育について』 黄 佩琪 様

### 【会長挨拶】 北村 淳 会長

今日は、3月と言えばということでお話ししたいと思います。

3月10日(日)に米山奨学生終了式に行きまして。地区の米山奨学生とカウンセラーが参加しての終了式でした。米山奨学生は年間を通して様々な催しがあります。毎月ロータリークラブの例会に参加することに加え、4月のオリエンテーションから始まり、日帰り旅行や懇親会などが多数企画されていて奨学生同士の交流も深められるプログラムとなっています。特に今年は8月につくば市で米山学友世界大会が開催されました。世界38の国と地域から1200人も学友が集う規模の大会でした。次回は26年6月に台湾で開催される予定です。1年間のプログラムが終わり3月に終了式となります。修了式では奨学生同士で記念写真を撮っている姿が多数見受けられました。3月から4月は別れと出会いの季節でもあります。黄さんもそうですが、3月で学生生活が終了し、4月からは社会人として今までとは違う人たちや環境での生活がスタートします。新たな気持ちで新たな環境での生活を応援しています。クラブでは4月からはマレーシアからの米山奨学生が来ますので皆さんよろしくお祈りします。カウンセラーは柴田さんと西山さんになります。



3月11日(月)にPETSが開催されました。遠藤会長エレクトが出席されたことと思います。私も1年前にPETSを受けたことを思い出しました。ロータリーでは毎年1月に国際協議会が開催されRI会長のテーマが発表されます。My Rotaryから最新の情報が見られます。2月3月4月には地区ガバナーによる3大研修が開催されます。2月に「地区チーム研修セミナー」、3月に「PETS」、4月に「地区研修協議会」と続きます。クラブでは次年度理事会が3回開催され各委員会のメンバーが決まって来ました。今年度(2023-24年度)も7割ほどが終わりました。今は今年度やって来たことを見返して「継続と変化」を意識して会長エレクトを中心に次年度の活動計画を立てる時期となりました。

3月26日(火)には飛火野RCとの合同花見例会があります。桜の開花と春の訪れを祝うと共に、次年度の計画づくりも進めていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【幹事報告】 伊東 秀章 幹事

①東京八王子RC、東京八王子西RC、東京八王子東RC、東京八王子南RC、東京八王子北RC、東京シテイRCより3月または4月の例会のお知らせが届いております。

②地区職業奉仕委員会より、「&の可能性」を追求する職業奉仕セミナーのご案内がございました。ちらしをレターケースに入れておりますのでお持ち帰りください。

### 《例会プログラム》

#### 【司会】

石場 裕美  
例会向上委員長

#### 【開会点鐘】

北村 淳 会長

#### 【ロータリーソング】

ソングリーダー  
柴田 健介 君  
『我らの生業』



#### 【ビジター・ゲスト紹介】

米山奨学生  
黄 佩琪 様

#### 【出席報告】

柴田 健介 委員長

#### 【ニコニコ報告】

凶子 久雄 委員長

#### 【委員会報告】

地区奉仕プログラム委員会  
創立 60 周年実行委員会  
会員増強委員会

#### 【卓話】

米山奨学生  
黄 佩琪 様



お弁当：光の家

## 【地区奉仕プログラム委員会】 まんぼう 委員

先ほど幹事からもご案内がありました。こちらの4月4日の15時から地区職業奉仕セミナーが開かれます。メインの卓話者が渋谷健さんとありますが、新一万円札の玄孫にあたる方です。渋谷栄一の遺伝子を汲んでいる方でして、タイトルにあるように「論語と算盤」に学ぶ「職業奉仕」で、昨年からの地区の職業奉仕委員会では理論だけでなく行動する職業奉仕をテーマにしておりますので、仕事をもっと利益を上げたい人はぜひご参加ください。私は参加します。よろしくお祈りいたします。



## 【創立60周年実行委員会】 横倉 利夫 委員長

12月の例会の時に皆さんから60周年記念事業についてアンケートとして頂きたいということで、ここでお話をさせていただいた内容と合わせ皆様からアンケートを頂きました。22の案が一覧としてここに上がってきています。皆さんからいただいたものをこれから実行委員会で検討しながら進めて行きたいと考えています。本日この例会終了後、実行委員会を開催しますので担当の方は出席を賜りますようよろしくお願いいたします。



## 【会員増強委員会】 疋田 久武 委員長

会員増強委員会よりご報告いたします。先月の21日は地域交流会に皆様ご協力いただきましてありがとうございました。無事に終わることができました。ゲスト14名おいでいただいたのですが、これをする前の委員会でゲストにアンケートを貰ったらどうかと言う案があったのですが、アンケートよりも呼んでいただいた方にこのままで終わらないようにその後の感想をいただきたいと思ひまして次回の例会から、北村さん、岩田さん、山口さん、まんぼうさん、呼んでいただいた方の感想をよろしくお願いいたします。



ちなみに私は3人呼びまして、Sさんは整形外科の開業医だったのですが、ここで開業医を閉めて次の職がまだ決まっていないということで、こないだ来て好印象を持っているのですが、それが落ち着きましたら入りたいということです。Fさんというシティホテルの方もロータリーに好印象を持っています。Iさんは先輩の方がいらっしゃるのでその辺を調整して検討したい、という3人のお話です。こんな感じでぜひ呼んでいただいた方は感想を聞いていただいて入会に出来るだけ繋がるようよろしくお願いいたします。

## 【ロータリー米山記念奨学会・感謝状】



## 【米山奨学金贈呈】

米山奨学生  
黄 佩琪 様



## 【卓話：日本語教育について】 米山奨学生 黄 佩琪 様

皆さんこんにちは。この1年間は、あっという間でした。前回、去年5月の卓話では自己紹介をしましたが、今回は、この2年間、学芸大学で学んできたことを少し皆さんに紹介したいと思います。

私はこの2年間、学芸大学の大学院で日本語教育を専門に学んできました。最初は「専門は何ですか?」と聞かれて「日本語教育です」と説明しても、ピンとこなかった人が多かったです。自分も、最初は「日本語」と「国語」の区別が何なのかわからなかったです。国語を対象とする人は日本人です。日本の学校の中で小学生などを教えるのは国語と言います。



日本語教育とは、対象とする人は外国の人です。違いについては、国語は学校文法とか古文とか1段動詞5段動詞とかありますが、このようなことは外国人にとってはハードルが高いです。外国人はこのような国語は学びません。特別の分かりやすい日本語文法とか、外国人に対しての特別の教え方があります。

まずは日本語教育の必要性について話したいと思います。なぜ国内で日本語教育が必要かという、今日本の中で暮らしている外国人の増加と多様化があります。1990年代に日本にいる外国人の登録者数は100万人位しかいなかったのですが、去年の最新のデータですと、日本にいる外国人の数は322万人を超えました。過去最大となります。今後とも増加が見込まれています。この星がついているところは2020年と2021年です。これはコロナの影響で人の移動が制限されて、日本からビザが下りても外国は人の移動が厳しくて中国から出るのが大変だったので、ここは一時的に減少しました。この30年の中で約3倍に増えました。

次は外国人の国籍別を見ると、一番多かったのは中国なのですが、でも90年代の頃に多かったのはブラジルを中心とする南米の日本人でした。南米の日系人が多かった理由としては、1930年頃は日本から南米とかペルーに移住しまして、その移民の子孫とかが日本がバブルの時に日本に戻ってそのまま日本に就職して残っているという理由がありました。昔はブラジルが多かったのですが、でも最近は徐々に中国、ベトナム、フィリピンとかのアジア系の人が増えました。最近では中国よりもベトナムの方の増加が著しくて、日本もどんどん他国籍化が進んでいます。

ブラジルといえば、群馬県の大泉町でブラジル人が多かったです。去年も学校での見学で同級生と一緒にブラジルの日本語学校を見学しに行きました。ここは群馬県で一番小さい町と言われているんですが、町の総人口は4万人なのですが、その内に外国人の数が8,000人位います。2割位が外国人です。5人に1人が外国人という高い割合でした。その理由は、群馬県にスバルとパナソニックなどの大手の企業がありまして、人手不足を解消するために外国人の労働者を沢山受け入れたという理由がありました。この大泉町の役所にも、ポルトガル語の雑誌などが沢山ありまして、行政と市役所のサービスにも翻訳のサービスが提供されております。あとは町の教育委員会とかにもこのブラジルの方達に日本語の講習会とか日本語を勉強する機会を提供しています。その一方で、日本人のためのポルトガル語教室もあります。お互いの言語を勉強して理解することは国際的なコミュニケーションを深めていることにもなります。私は町にあるブラジル日本語学校を見学しましたが、都内から群馬に電車で片道2時間を通う学生も何人かいました。彼らに何故わざわざ遠いところを通っているかを聞くと、普通の日本語の学校より同じ母国出身の人が沢山いて、日本に来たばかりの人に対して居場所として心地よく、母国の人と日本語を勉強することができましたので、こちらの方が勉強しやすいという答えがありました。

次は日本にいる外国人の人数の上位10カ国です。一番多いのは中国で、次はベトナム、韓国、フィリピン、ブラジル、ネパール、インドネシア、ミャンマー、アメリカ、台湾となっています。やはりアジア系が多かったです。調べていてちょっと驚いたのは韓国です。カッコの中は去年と比べての人数です。韓国は400人しか増えていない。他は2万人とか3万人でデータを間違えたのでは無いかと思う位の人数です。多分これは日韓関係が悪くなっているのではないかと思います。

次は、外国人は日本に居ると在留資格ビザが必要です。一番多いのは永住者です。次は技能実習で、技術・人文・国際業務は就労ビザ、4番目に多いのが留学です。特別永住者と永住者の違いは、特別永住者は戦争の関係で中国とか韓国の人が日本に残っている場合はこの特別永住者のビザを持っています。最近では技能実習のビザで、ベトナムの方がたくさん日本に来ています。でも最近では、この技能実習生が社会問題になっています。ベトナムの労働者に対する過酷な労働条件や給料が低いなどといったことが人権問題になっていて、技能実習のビザを廃止すべきだという声が上がっているのです。

次の図は、都道府県別の外国人の人口分布を示しています。1番、外国人が多いのは東京、次は愛知県です。さらに大阪、香川、埼玉、千葉と続きます。大都会に外国人が多い理由としては、経済活動の中心地であること、産業が集中していること、教育機関が都会に多いことが挙げられます。留学する人も都会にばかり行き、地方は行く人は少ないのです。日本語の教師も東京や大阪に集中していて、地方は日本語の学習の場があまりありません。

外国人への日本語教育についてお話しします。この表は日本語のレベルを示しています。C2とC1は1番高い級＝熟達した言語使用者のことです。B2とB1は自立した言語使用者と言われています。A1とA2は基礎的な知識を持っているレベルです。N1、N2、N5は日本語能力試験のことです。日本語を勉強する学生は、留学すると必ずこの試験を受けなければなりません。私はN1に合格するために、3回も試験を受けました。すごく難しかったです。この試験の満点は180点なのですが、100点が合格点です。私は、1回目の点数が99点で、2回目の時は98点でした。すごく悔しかったです。3回目は135点でした。受かるために家の壁のあちこちに、日本語の文法とか単語とか貼っていました。お風呂場にも、クリアファイルに入れて貼っていました。シャワーをしながら、日本語を覚えました。ちなみに日本に留学する時に、日本の大学は一般的にN2以上ないと受かりません。

日本語を教える時には、対象者に合わせた教え方があります。普通の分け方としては、「漢字圏」と「非漢字圏」の学習者がいます。「漢字圏」の学習者は、台湾、中国、韓国、シンガポール、マレーシアです。「非漢字圏」の学習者とは、アメリカやヨーロッパ、ベトナム、ネパール、インドなどです。「漢字圏」と「非漢字圏」の学習者では、日

本語習得にかかる時間が違います。日本語学習において漢字は大きな壁の一つです。特に、「非漢字圏」の学習者にとって、漢字は難しいのです。一般的に、漢字圏の学習者である中国の学習者は、日本語をゼロから学びN1までは1～2年かかるのですが、「非漢字圏」の人は、3～4年、5年くらいかかるのです。「漢字圏」の人は、漢字を見ればだいたいの意味がわかるので、N1などの試験には中国の学生が強いのですが、でも話すのは「漢字圏」の人は「非漢字圏」と比べて、あまり得意ではないのです。「漢字圏」の人は試験に合格しても、読み書きは強いのですが、会話が苦手な人が、周りの友達にも多かったのです。

これはN1試験の過去問です。「劳わる」など、難しい言葉を覚えなければならなかったのです。たまに、日本人の友達に説明してくださいと尋ねると「わからないな」と言われることもありました。試験に出るのは、日常であまり使わない日本語ばかりでした。でも、この試験を受けなければなりません。

次は「やさしい日本語」について話したいと思います。「やさしい」はあえて漢字にしていらないらしいです。「やさしい日本語」の誕生は1995年の阪神大震災です。この時、日本にいた外国人は、地震の放送があった時、日本語があまり理解できなくて必要な情報を得られなかったため、外国人の方が被害を受けたということが背景にあります。地震が発生した時に、日本語に慣れていない外国人にとって早く情報を伝えるためにこの「やさしい日本語」が考え出されたのです。当時は地震の情報の伝達手段として使われていましたが、現在は外国人の支援団体や生活情報や観光情報を伝えるために、たくさんところで使われています。例えば「ただちに高台に避難してください」という言葉は、外国人にとっては耳にただけではあまり意味がわかりません。「ただちに」が難しいですし、「高台に避難してください」も、難しいです。これを「やさしい日本語」に置き換えると、「すぐに高いところへ逃げてください」となります。これなら外国人にも理解がしやすく、すぐに行動を取れるようになります。

「やさしい日本語」のポイントは、文章は短く、1文で1つの情報を提供することです。また、普段日本語を話す時に、あまり主語を言わないけれど、主語を明確にして、二重否定などの曖昧な表現をできるだけ避けます。また、漢字がある場合、ふりがなをつけると「やさしい」です。写真やイラストを兼用して、話す時ははっきり、ゆっくり話すのが「やさしい日本語」のポイントです。例えば、このピンクのチラシに書いてある「デマ」という言葉は外国人には理解がしづらいです。「嘘の話」と書いたり、「メチャクチャです」は「壊れています」と書いたり、「行かないわけではない」という二重否定は「行きます」と簡単な日本語に変えるとわかりやすいです。「明日、再度お越しくください」などの敬語も使わずに、「明日、もう一度来てください」と書いた方が、外国人にとってはわかりやすい日本語となります。

「召し上がる」「土足禁止」「キャンセル」「高台に避難する」「食べる」…など、最初私が日本に来た時には「土足禁止」の意味がわかりませんでした。観光地に行くと、たまに靴を履いたままの外国人がいるかもしれませんが、あれはマナーが悪いのではなくて、日本語を理解していないだけかもしれないのです。「大雨」は「雨がたくさん降る」などわかりやすい日本語に言い換えるのが「やさしい日本語」です。最初は震災のために取り入れられたものですが、いまは観光地や市役所のチラシにもたくさん「やさしい日本語」が使われています。

「やさしい日本語」の意義としては、日本国内に住んでいる外国人の多様化の中で、多くの外国人とのコミュニケーションを円滑にするためのツールの一つとしています。日本人と外国人が互いに思いやりをもちながら「やさしい日本語」を使って、多文化共生の意識を醸成します。在日の外国人だけではなく、日本に旅行に来る観光客、子どもや高齢者、障害者などとのコミュニケーションにも有効です。

次は外国人の子供たちの日本語教育についてです。この図が表しているのが、日本の公立学校における、日本語指導が必要な子どもの人数です。下のグレーのところは外国籍の子供です。緑のところは、日本籍の子供たちです。日本国籍なのになぜ、日本語指導が必要なのかというと、例えば国際結婚の夫婦で父親が外国人、母親が日本人の場合、子どもたちは外国語を話して日本語を話せない、などといったことがあります。このように、日本国籍でも日本語指導が必要な子どもたちがいます。このような子どもたちに、いまの学校で日本政府はたくさんの政策で支援しています。例えば「取り出し授業」と「入り込み授業」です。

「取り出し授業」とは、例えばクラスの中に1人の外国人がいて、この子どもだけ日本語がわからないので、授業を受けても意味がわかりません。ですからこの1人の子どもを取り出して、専門の日本語の先生が1対1で教えているのがこの「取り出し授業」です。その反対の「入り込み授業」というのは、日本語指導のスタッフが授業中に外国人の子どもの横に座って、先生が言っていることをその場でその子供に翻訳しています。「取り出し授業」と「入り込み授業」は学校の中で行われているサポート政策です。

次の地域日本語教室は、地域の学校の外の支援となります。私も2年ぐらい小平市の地域日本語教室で日本語を教えました。毎週水曜の15時、子どもたちの学校が終わった後に、みんなで日本語を勉強しています。東京や大阪、香川にはこのようなサポートの政策があります。ですが、地方に外国人がいても、日本語のサポートや体制が整っていないところもあって、いまはボランティアの日本語の先生しかおらず、国の支援を求める声も上がっています。

私の卓話は以上となります。この1年間、本当にありがとうございました。

# やさしい日本語

## 日本語でできる国際交流

ふつうの日本語

やさしい日本語

ただちに高台に避難してください

すぐに 高いところへ にげて ください



ただちに → すぐに  
 高台に → 高いところへ  
 避難してください → にげて ください



「やさしい日本語」 優しい 易しい あえて漢字を使わない

### 【出席報告】 柴田 健介 委員長



	会員総数 (出席免除数)	出席総数 (免除者出席数)	MU	欠席	出席率
本日報告(3/13)	34 (0)	21 (0)	0(0)	13	61.765%
前回訂正(3/6)	34 (0)	21 (0)	3(0)	10	70.588%
前々回訂正(2/27)	34 (0)	10 (0)	10(0)	14	58.824%
前々々回訂正(2/21)	34 (0)	25 (0)	2(0)	7	79.412%

<事前のMU>

なし

<前回のMU>

阿野 正揮 (次年度理事会)、伊東 秀章 (次年度理事会)、小島 馨 (クラブ奉仕)

<前々回のMU>

阿野 正揮 (理事会)、石場 裕美 (クラブ奉仕)、伊東 秀章 (理事会)、遠藤 力 (理事会)、小島 馨 (クラブ奉仕)、田中 くに子 (クラブ奉仕)、疋田 久武 (クラブ奉仕)、松浦 信 (理事会)、山口 徹雄 (次年度理事会)、吉田 宇秀 (理事会)

<前々々回のMU>

吉田 宇秀 (クラブ協議会)、関子 久雄 (クラブ奉仕)

### 【ニコニコ報告】 関子 久雄 委員長



**本日のニコニコ： 3,000 円 / 累計 371,047 円**

**ビジターフィー： 0 円 / 累計 40,000 円**

北村 淳 君 ..... 黄さん、米山奨学生としての活動お疲れ様でした。本日の卓話楽しみにしています。  
 遠藤 力 君 ..... おかげさまで、3/11 に PETS 終了致しました。「ロータリーマジック」をテーマに次年度よろしくお願ひ致します。

### 東京日野ロータリークラブ会報

事務局：〒191-0031 東京都日野市高幡 3-8 田中ビル 3 階  
 TEL：042-594-3711 fax：042-593-0510

例会：毎週水曜日 (12:30 より) 例会場：高幡不動尊客殿

URL：<http://www.hino-rotary.org> 桃源院青雲 5 階(2023.7.1~)

メール：[info@hino-rotary.org](mailto:info@hino-rotary.org)

会長：北村 淳 幹事：伊東 秀章  
 会報委員会：山口 徹雄 (委員長)  
 疋田 久武 (副委員長)  
 小島 馨  
 菅原 直志  
 山下 雅裕